【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第５部門第２区分
【発行日】平成25年2月14日(2013.2.14)

【公開番号】特開2011-190934(P2011-190934A)
【公開日】平成23年9月29日(2011.9.29)
【年通号数】公開・登録公報2011-039
【出願番号】特願2011-42178(P2011-42178)
【国際特許分類】
Ｆ１６Ｌ　55/18　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｆ１６Ｌ　55/18　　Ａ

【手続補正書】
【提出日】平成24年12月18日(2012.12.18)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
プラギングマシン（１０）によってメイン配管（１）の内部に挿入されてメイン配管を遮断するものであって、プラギングマシン（１０）のピストンロッド（１１）によってガイド（１２）と共に動作するレバー体（１３）に結合したゴム設置板（１４）に設置され、メイン配管（１）の内面に密着する環状縁部（２１ａ）を有し、高圧ガスを一次的に遮断する一次遮断ゴム（２１）と、複数のローラー（２２ａ、２２ｂ、２２ｃ）が設置されているローラー支持台（２２）とが結合されてなるプラギングヘッドにおいて、
前記一次遮断ゴム（２１）と前記ローラー支持台（２２）との間に設置され、外周縁にチューブ取付溝（２３ａ）を有し、前記チューブ取付溝（２３ａ）に連通している流体供給通路（２３ｂ）を有するチューブ支持台（２３）と、前記チューブ支持台（２３）の前記チューブ取付溝（２３ａ）に設置され、前記流体供給通路（２３ｂ）の出口に連結されるニップル（２４ａ）を有し、ガスを二次的に遮断するゴムチューブ（２４）とを含んでなり、
前記一次遮断ゴム（２１）と前記ゴム設置板（１４）には前記チューブ支持台（２３）の流体供給通路（２３ｂ）に連通する連通孔（２１ｂ、１４ｂ）がそれぞれ設けられており、
前記ゴム設置板（１４）の連通孔（１４ｂ）には外部に連結された流体ホース（１５）が接続されており、
前記チューブ支持台（２３）には前記一次遮断ゴム（２１）と前記ゴムチューブ（２４）との間の空間にあるガスを排出するための流体排出通路（２３ｃ）が設けられており、前記一次遮断ゴム（２１）と前記ゴム設置板（１４）には前記流体排出通路（２３ｃ）に連通する連通孔（２１ｃ、１４ｃ）が設けられており、前記ゴム設置板（１４）の連通孔（１４ｃ）には外部に連結された流体ホースが接続されていることを特徴とする、配管遮断用二重プラギングヘッド。
【請求項２】
前記一次遮断ゴム（２１）と前記チューブ支持台（２３）は、それぞれ多数のボルト貫通孔（２１ｄ、２３ｄ）が設けられ、ボルト（２６）によって前記ローラー支持台（２２）と共に前記ゴム設置板（１４）に結合されていることを特徴とする、請求項１に記載の配管遮断用二重プラギングヘッド。

【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１２
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１２】
上記目的を達成するために、本発明の配管遮断用二重プラギングヘッドは、プラギングマシンによってメイン配管の内部に挿入されてメイン配管を遮断するものであって、プラギングマシンのピストンロッドによってガイドと共に動作するレバー体に結合したゴム設置板に設置され、メイン配管の内面に密着する環状縁部を有し、高圧ガスを一次的に遮断する一次遮断ゴムと、複数のローラーが設置されているローラー支持台とが結合されてなるプラギングヘッドにおいて、前記一次遮断ゴムと前記ローラー支持台との間に設置され、外周縁にチューブ取付溝を有し、前記チューブ取付溝に連通している流体供給通路を有するチューブ支持台と、前記チューブ支持台の前記チューブ取付溝に設置され、前記流体供給通路の出口に連結されるニップルを有し、ガスを二次的に遮断するゴムチューブとを含んでなり、前記一次遮断ゴムと前記ゴム設置板には前記チューブ支持台の流体供給通路に連通する連通孔がそれぞれ設けられており、前記ゴム設置板の連通孔には外部に連結された流体ホースが接続されており、前記チューブ支持台には前記一次遮断ゴムと前記ゴムチューブとの間の空間にあるガスを排出するための流体排出通路が設けられており、前記一次遮断ゴムと前記ゴム設置板には前記流体排出通路に連通する連通孔が設けられており、前記ゴム設置板の連通孔には外部に連結された流体ホースが接続されていることを特徴とする。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１３
【補正方法】削除
【補正の内容】